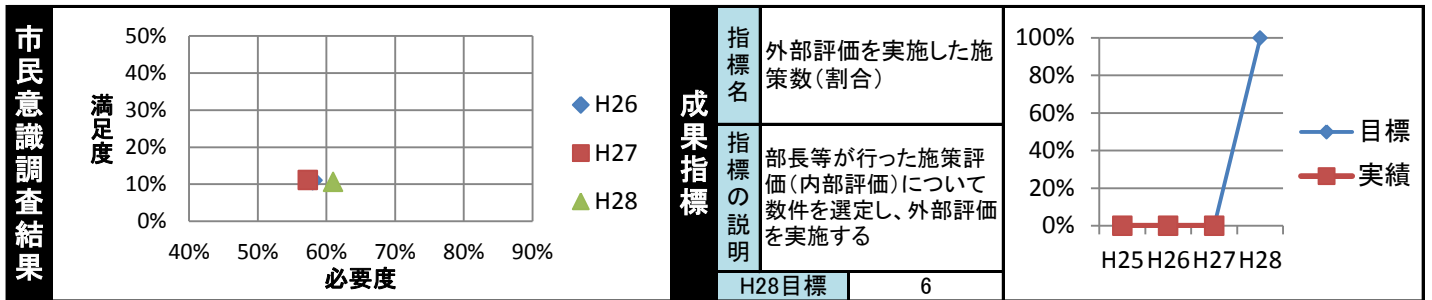


基本情報	政策名等	723	行政の自立的な運営	担当部署	010600	総務部行財政改革推進課	連絡先	0595-22-9622
	施策	7231	自立的な市行政の運営	評価責任者・役職名	総務部 部長 西堀 薫			
	再生の視点(何を、どうする)	・社会経済環境の変化による厳しい財政状況が続くことを踏まえ、評価と改善を中心としたマネジメントサイクルにより、限られた行政経営資源(ヒト・モノ・カネ)を有効に活用した総合的な行政運営をめざします。						
施策の方向	効果的・効率的で、かつさまざまな危機に対応できる市政運営をめざして、市の政策を推進するための新たなしくみや組織体制・組織運営のしくみの構築、外郭団体等の見直しなど、行政運営の改革に取り組みます。							



	平成26年度	平成27年度	平成28年度
前年度の取組内容と残された課題	(平成25年度の取組内容と残された課題) 伊賀市行政総合マネジメントシステムを構築しました。前年度決算内容の反映方法が課題です。	(平成26年度の取組内容と残された課題) 4月から5月に全事務事業ヒアリングを行い、第2次伊賀市総合計画再生計画の施策に事務事業の位置付けを実施しました。9月に次年度の予算編成に向けて事業の進捗状況や社会情勢の変化を確認する中間の施策評価を実施し、秋の行政経営協議(トップマネジメント)を経て、事務事業の重点化を図り、各部による平成27年度予算編成を実施しました。行政総合マネジメントシステム推進委員会による年度末評価及び次年度の行政経営報告書の検討を行い、これらに基づく施策評価、事務事業評価に関する研修会を実施し、3月に来年度に向けた施策評価と平成26年度の年度末事務事業評価を実施しました。今後ますます財政状況が厳しくなる中で、計画と評価、予算が連動するしくみとして、各施策の成果に基づく事務事業の改善や重点化をより積極的に進める必要があります。また、行政総合マネジメントシステムをよりよいものとするため、各部署間の情報共有やシステムの改善を行い、行政職員の意識の醸成に努める必要があります。	(平成27年度の取組内容と残された課題) 伊賀市行政総合マネジメントシステムに基づき9月に次年度予算編成に向け、事業の進捗状況や社会情勢の変化を踏まえた中間評価を実施し、秋の行政経営協議において事務事業の重点化、施策の優先度を決定しました。これらを基に平成28年度予算編成へ反映しました。年度末には事務事業評価、施策評価を行いました。行政総合マネジメントシステム推進委員会において、より効果的で市民にもわかりやすい評価シートとなるよう改善の検討を行いました。また総合計画審議会において外部評価の導入について検討しました。2月に施策評価、事務事業評価に関する職員研修会を実施し、改善改革の意識を高めるとともに、年度末の評価の効率的な実施に資することとしました。今後一層評価により改善や重点化をより積極的に進めるため、職員の意識の醸成に努め更に効果的なシステムへ改善を行う必要があります。
改善・取組方向	決算確定後に行政経営協議を行うことで、前年度決算内容を加味します。 春・秋の行政経営協議を行い、限られた行政資源を有効に活用した総合的な行政運営を行います。	改善ポイント 行政経営報告書を作成し市民に公表します。 行政総合マネジメントシステムの確立 平成27年3月から4月に行政評価(事務事業・施策)を行い、施策成果による再生計画の進行状況の確認を行います。 春の行政経営協議で当該年度の方針を協議します。 平成27年度の施策方針(行政経営方針)とまちづくりアンケート(市民意識調査)や行政評価の結果を行政経営報告書として、取りまとめて公表し、市民からの意見を求めます。 市民や議会の決算審査時の意見、中間行政評価による社会情勢の変化や事業実施状況等の確認をし、事務事業の重点化や改善を行い、秋の行政経営協議での協議を経て次年度の予算編成に連動させていきます。 年度末には、次年度に向けた施策評価並びに事務事業評価を行います。	これまで内部評価のみであった行政評価のうち、部長等が行った施策評価を対象とする外部評価を試行的に導入し、透明性の確保、職員の意識改革、アカウンタビリティの向上を目指します。 平成28年3月に年度末評価(事務事業・施策)を実施し、再生計画の進行状況の確認を行い、春の行政経営協議で平成28年度の方針を確認します。行政経営報告書を公表し、市民の意見を求めます。市民の意見や議会の決算審査時の意見、中間評価による社会情勢の変化や事業実施状況等の確認をし、事務事業の重点化や改善を行い、秋の行政経営協議を経て次年度の予算編成により強く反映させます。限られた人材、財源の中、行政運営の効率化、市民サービスを向上させるため民間活力の活用を推進します。
改善ポイントと具体的な取組			

(続紙)

施策 7231

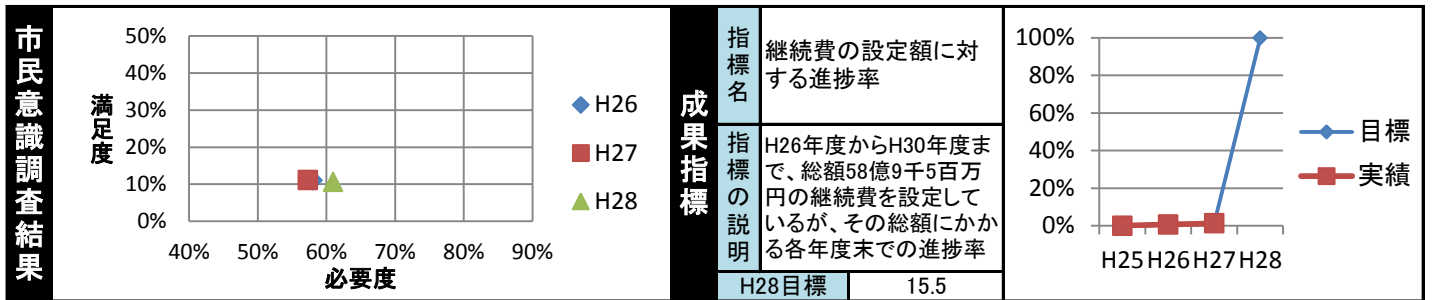
自立的な市行政の運営

(千円)

構成事務事業の重点化	No	26 重点	27 重点	28 重点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方向	H28 予算
	01	1			行政評価推進事務経費(01-02-01-06-127-02)	市の行政経営方針(仮称)の策定・公表など、行政総合マネジメントシステムの運用(平成27年度から市政再生推進事務経費に統合)	0	0		
	02	2	1	1	行財政改革推進費(01-02-01-06-127-01)	市政再生推進事務経費から名称変更。行政総合マネジメントシステムの着実な運用を行い、成果を評価と決算が次年度予算に連動するしくみを確立する。	457	290	→	370
	構成事務事業 合計							457	290	

中間総括	第1次再生計画 期間全体を総括 して	「伊賀市行政総合マネジメントシステム」を構築し、効果的、効率的な行政運営を行うために評価を予算につなげる、評価を事務の改善につなげる仕組みづくりを行いました。 業務上発生しうる新たなリスクへの対応策として、内部統制基本方針を策定し、リスクの可視化、業務の再点検など業務を適切に進めるためのルール作りを行いました。
	第2次再生計画 (仮称)への課題、 対応について	効果的、効率的な行政運営を行うために更なる職員の意識改革が必要であるため、研修など継続した推進体制が必要です。また、評価結果を全職員が共有し、取り組むことで組織運営に反映させられるような伊賀市行政総合マネジメントシステムに改善する必要があります。

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	政策名等	723 行政の自立的な運営		050200	財務部管財課	0595-22-9610
	施策	7232 市庁舎の整備	評価責任者・役職名	財務部 部長 宮崎 寿		
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 本市の歴史や文化を踏まえ、景観に配慮するとともに、長寿命による社会情勢の変化にも柔軟に対応でき、利便性の高い市民に開かれた庁舎とします。 災害等の発生に備え、市域全体の防災拠点としての機能がしっかりと果たせるようにします。 				
施策の方向	計画策定にあたっては、市民意見交換会やパブリックコメントを実施するなど、広く市民から意見や提案を聴き、計画に反映させます。また、庁舎整備計画検討委員会における検討内容や、今後の基本設計・実施設計についても、いち早く情報を発信し、市民との情報共有を図ります。					



改善・取組方向	前年度の取組内容と残された課題	平成26年度 (平成25年度の取組内容と残された課題) H25.5月庁舎整備計画検討委員会を設置し、9月に中間案を策定したのち、10月にかけて市民意見交換会を11回開催、パブリックコメントも募集しました。その後、12月に2案併記で答申があり、市の方針を「三重県伊賀庁舎隣接地」に決定しました。さらにはH26.2月に庁舎整備計画を策定しました。市の案が議会の3分の2の同意が取れること、また、「ムダのない財政」に対応するため、経費の縮減に対応すること等が課題です。	平成27年度 (平成26年度の取組内容と残された課題) H26. 8. 24に行った住民投票でも、新庁舎の位置は決まりませんでした。その後9月議会において、3分の2の同意を得て、新庁舎の位置が決定されました。その後、直ちに新庁舎の設計業者を選定する手続きに入り、プロポーザル方式により12月に決定しました。設計以外の業務については、開発許可申請等業務委託及び庁舎建設用地測量業務委託の2件を10月に、地質調査業務委託を2月にそれぞれ契約し、発注しています。また用地取得のため不動産鑑定士による鑑定評価も実施し、現在は、用地購入の単価を地権者に提示し、用地購入の交渉中です。今後は、基本設計において、庁内の3つのワーキンググループにより、基本設計を検討すること、市民ワークショップ、市民説明会を開催し、パブリックコメントなどの手続きも進めていく必要があります。	平成28年度 (平成27年度の取組内容と残された課題) 新庁舎建設については、地質調査や基本設計等を終了し、現在、実施設計を行っている段階です。また、「開発許可申請、農地転用、土地収用法に係る事業認定」と言った3つの申請を行ったが、県知事の許認可に時間を要しており、当初スケジュールよりやや遅滞している。
	改善ポイントと具体的な取組	市の案が議会の3分の2の同意が取れるよう、住民投票を実施するほか、「ムダのない財政」に対応するため、現庁舎を改修し、図書館に、また、現図書館を改修し、芭蕉翁記念館を整備することし、建設事業費の削減等を図ることとしました。	基本設計については、平成27年7月に終了させ、8月からは、実施設計を行っていくこととなります。この実施設計と平行して、開発許可申請、土地収用法に係る事業認定、農地転用許可申請なども進めていく必要があります。	土地収用法事業認定に関して認定が出ることと、農地転用の許可や開発許可は同時許可であるため、事業認定については、早急に、そして確実に対応します。 その後の円滑な用地取得、工事発注手続きを進め、造成工事等の年内着手、平成29年1月からの本体工事着手を目指します。

(続紙)

施策 7232

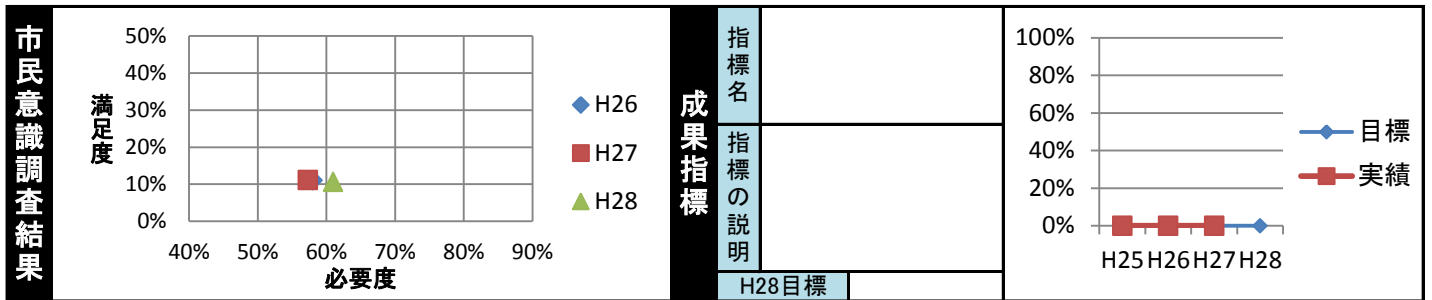
市庁舎の整備

(千円)

構成事務事業の重点化	No	26 重点	27 重点	28 重点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方向	H28 予算	
	01	1	1	1	庁舎整備事業(01-02-01-01-103-51)	市民に分かりやすく機能的な市役所を目指し、必要となる本庁、支所の適正規模を基準に庁舎整備に取り組む。また、策定した計画に基づき基本・実施設計を作成し、庁舎建設工事を実施する。	379,540	12,769	↑	2,901,185	
	構成事務事業 合計							379,540	12,769		2,901,185

中間総括	第1次再生計画期間全体を総括して	新庁舎建設のため、新庁舎の位置条例を議決していただきました。この議決に基づき、基本設計、実施設計を進めてきています。農地転用申請、開発許可申請、土地収用法に係る事業認定申請などを、県に提出してきています。
	第2次再生計画(仮称)への課題、対応について	平成28年度中には、新庁舎の建設工事を発注し、建設工事を工夫することにより工期の短縮を図り、当初の完成時期である平成30年10月には、完成させたいと考えています。

基本情報	政策名等	723	行政の自立的な運営	担当部署	040600	企画振興部広聴情報課	連絡先	0595-22-9636
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	評価責任者・役職名	企画振興部 部長 藤岡 淳次			
	再生の視点(何を、どうする)	・情報システムのマイナンバー法対応を契機に事務手続きの見直し、手続きのワンストップ化、総合窓口の導入など、機構改革や行財政改革の可能性を検討します。						
施策の方向	国により進められている情報技術戦略に沿った市民本位の電子行政の実現をめざして、新たな手法を検討し、業務システムコストの見直しを進めますが、当面は、社会保障・税一体改革の基礎となるマイナンバー法に対応するため、法のスケジュールに沿って各業務システムの改修を進めます。さらに、複雑化する情報提供ネットワークの中で、セキュリティが確保され個人情報保護される情報ネットワーク環境の構築と、情報保護評価を進めます。							



改善・取組方向	前年度の取組内容と残された課題	<p>平成26年度</p> <p>(平成25年度の取組内容と残された課題) 基幹系・内部情報系を問わず、全システムについて、安定稼働を確保することができました。 今後は、法改正や各システム構成機器の劣化、ベンダサポートの終了を見据えた更新を行う際に、一時的な更新経費だけでなく更新後のシステム運用経費も含めたトータルコストを考慮したシステム選択を実施する必要があります。</p>	<p>平成27年度</p> <p>(平成26年度の取組内容と残された課題) ・基幹系・情報系ネットワークの安定稼働を維持継続しました。 ・セキュリティポリシーに沿ってデータの消失や改ざん等を防止し、情報資産を保護しました。 ・基幹系・情報系システムの更新は、サーバOSのサポート終了が迫っているため、更新の必要性についてシステムを使用する原課で対応するよう指示をしました。 ・マイナンバー法に対応するため、法のスケジュールに沿って各業務システム改修を行っています。 ・住民票等のコンビニ交付システムを構築しました。</p>	<p>平成28年度</p> <p>(平成27年度の取組内容と残された課題) ・マイナンバー法に対応するために対象システムの改修を行いました。 ・マイナンバー法の施行に伴い、行政内部の情報連携に係る「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」を制定・改正しました。 ・内部情報系システムについては、サーバのサポート保守期限が迫り、関係課と協議し新サーバの導入と使用するOSの仮想化による継続使用を決定し、新年度での更新を予定しています。</p>
	改善ポイントと具体的な取組	<p>・社会保障・税一体改革の基礎となるマイナンバー法に対応するため、国の補助金を利用しつつ、各業務システムの改修を遅滞なく進めます。 ・システム導入・更新時には一時的な更新経費のみならず、システム運用経費等も含めた検討を行い効率的な運用を図ります。セキュリティポリシーの周知徹底・管理運用に努めます。</p>	<p>・引き続き各種電算システムの保守、改修等に努めます。 ・マイナンバー法対応については、システム改修を終了し、テストへの対応を準備すると共に、特定個人情報保護評価を適時に実施できるよう進めます。 ・マイナンバー法対応により総合窓口の検討や手続きのワンストップ化が進むよう専門部会やワーキンググループでの協議を進めるとともに、システムの導入や更新の際、競争原理が働くような導入の検討を進めます。 ・新庁舎整備と歩調を合わせていくため、各種業務の基本となる電算システム全般について、関係所属で構成する庁内検討会議において検討を進めます。 ・基幹系情報システムは、複数の所属が使用する場合を除き、費用対効果の評価を行える所属に契約を移管を進めます。 ・新庁舎への移転や経費削減を考慮し、自庁導入からクラウド方式へ移行する経費削減効果やメリット・デメリットの検討を行います。</p>	<p>・引き続き、マイナンバー法に対応するため関係システムの改修・構築を行います。 ・使用するOSの内部情報系の仮想化を行います。 ・総務省の方針に従い情報システムの強靱化対策(ネットワークの分離・基幹系システムへの二重認証導入)を実施します。 ・内部情報系システムについて、公会計導入に併せ新システムの導入業者の選定を実施します。</p>

(続紙)

施策 7233

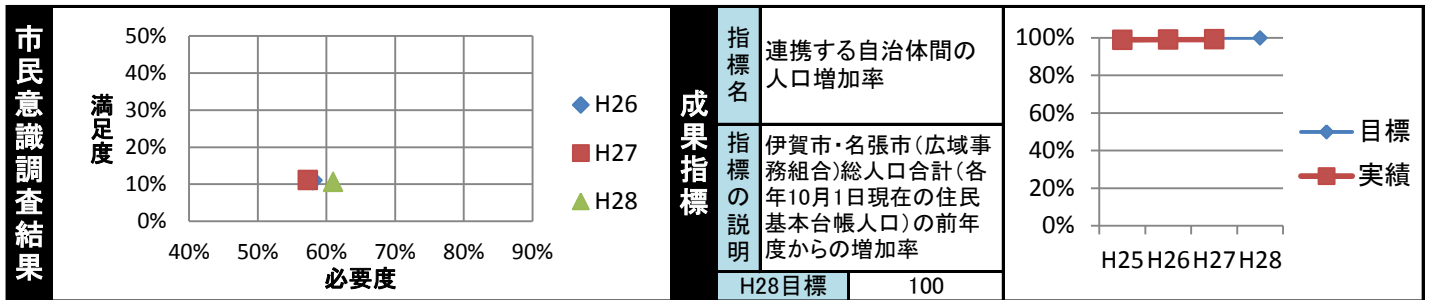
情報化による効率的な行政運営の実現

(千円)

構成 事務事業 の 重点化	No	26 重点	27 重点	28 重点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方向	H28 予算
	01				電算機維持管理経費(01-02-01-09-137-51)	住民記録に関連する業務システムの機器・システム保守	41,073	41,033	→	44,310
	02				ホームページ管理経費(01-02-01-09-138-02)	HPシステム関連機器・システム保守、不正アクセスや改ざんの監視	5,825	5,822	→	20,304
	03	3	3	3	基幹系情報システム最適化経費(01-02-01-09-654-51)	次期基幹系(住民記録系)システムの構築経費、保守経費等	129,824	129,822	→	120,766
	04				ネットワークシステム管理経費(01-02-01-09-140-51)	ネットワーク関連機器・システム保守、コンピュータウイルス対策	56,326	56,173	→	60,484
	05				グループウェアシステム管理経費(01-02-01-09-140-52)	GWシステム関連機器・システム保守	54,229	52,920	→	49,611
	06				総合文書管理システム管理経費(01-02-01-09-140-53)	内部情報系システム関連機器・システム保守	22,224	22,221	→	23,332
	07				総合行政ネットワークシステム管理経費(01-02-01-09-140-54)	LGWAN機器保守	581	581	→	1,141
	08				セキュリティ対策管理経費(01-02-01-09-140-55)	セキュリティポリシーの管理運用、セキュリティ関連システム機器保守・システム保守	30,005	4,903	→	4,935
	09	2	2	2	情報システム更新経費(01-02-01-09-140-58)	老朽化した機器、ソフトウェア等の更新	13,014	12,976	→	19,013
10	1	1	1	社会保障・税番号制度導入経費(01-02-01-09-340-01)	マイナンバーを扱う業務について、既存情報システムの改修	98,610	94,457	→	38,532	
構成事務事業 合計							451,711	420,908		382,428

中間 総括	第1次再生計画 期間全体を総括 して	マイナンバー法に対応するために対象システムの改修を行いました。また、マイナンバー法の施行に伴い、行政内部の情報連携に係る「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」を制定・改正しました。 内部情報系システムについては、サーバーのサポート保守期限が迫り、関係課と協議し、新サーバーの導入と仮想化による継続使用を決定し、新年度での更新を予定しています。
	第2次再生計画 (仮称)への課題、 対応について	引き続き、マイナンバー法に対応するため関係システムの改修・構築を行います。 総務省の方針に従い、情報システムの強靱化対策(ネットワークの分離・基幹系システムへの二重認証導入)を実施します。 内部情報系システムについて、公会計導入に併せ新システムの導入業者の選定を実施します。

政策名等	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	723	行政の自立的な運営		040100	企画振興部総合政策課	0595-22-9620
施策	7234	広域的な連携による行政の運営	評価責任者・役職名	企画振興部 部長 藤岡 淳次		
再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市と連携・協力し、広域的に取り組むべき事務事業について、効果や効率の観点から検討し、実施します。 ・伊賀圏域を越えて、取り組むことが有効かつ効率的な事務事業については、県や県内市町に加え、生活圏や流域を同じくする滋賀県、京都府、奈良県、大阪府や各都市との連携・交流を推進します。 					
施策の方向	各政策・施策において、効率的・効果的な執行の観点から、取り組むべき課題に応じて、伊賀圏域内における名張市や三重県、県内市町、近隣府県地域との連携・協力・交流を進めます。					



	平成26年度	平成27年度	平成28年度
前年度の取組内容と残された課題	<p>(平成25年度の取組内容と残された課題)</p> <p>伊賀圏域内では名張市との一部事務組合、圏域外では滋賀県甲賀市、亀山市と連携し、研究や共同事業を実施しました。今後も各政策・施策をさらに効率的・効果的に執行するため、隣接市町村等との連携・協力が必要です。</p>	<p>(平成26年度の取組内容と残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住自立圏構想において、伊賀市は伊賀地域及びその近隣地域の中心市としての要件を満たしているため、近隣市村と連携し、ビジョン等を策定することにより、財政的な支援もあることから、近隣市村の意向確認を行い、構想の実現について調査・研究を行っています。 ・伊賀市名張市広域行政事務組合経費については、広域事務組合議会費、広域行政圏振興経費に係る分担金を負担しました。 ・名張市との消防広域化に向けて協議を再開しました。 ・伊賀市甲賀市亀山市広域連携推進会議では、平成26年度は甲賀市が事務局となり、3市連携による施策の検討を行いました。今後、具体的な施策として、1つでも多く実現できるよう進める必要があります。 	<p>(平成27年度の取組内容と残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年6月24日に定住自立圏構想推進要綱に基づく「中心市宣言」を行いました。平成28年度では、協定の締結、定住自立圏共生ビジョンの策定など、圏域形成を進める必要があります。 ・本市及び近隣市町村により、定住自立圏を形成するため、関係市町村担当者による定住自立圏構想に係る担当者会議を開催しました。 ・伊賀市名張市広域行政事務組合では、平成29年4月から農業共済事務が県内で一本化されることから、平成29年度以後の体制について協議する必要があります。 ・伊賀市甲賀市亀山市広域連携推進会議については、4年目の取組みとなるため、研究・情報共有から協働で実施する施策を増やしていく必要があります。
改善・取組方向	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き伊賀圏域内では名張市との一部事務組合、圏域外では滋賀県甲賀市、亀山市と連携し、研究や共同事業を実施します。 ・各政策・施策をさらに効率的・効果的に執行するため、隣接市町村等との連携・協力が必要となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定住自立圏構想を進めるため、想定している近隣市村との協議を進めます。 ・引き続き広域行政事務組合への分担金を負担しますが、両市とも住民票等のコンビニ交付を始めたことによる広域交付システムの縮小に伴い、より費用負担が軽減されました。 ・引き続き名張市との消防広域化に向けた協議を行います。 ・伊賀市甲賀市亀山市広域連携推進会議では、平成27年度は亀山市が事務局となり3市連携の取組みを協議します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定住自立圏の形成を進めるため、今後、圏域の形成に向けて本市と具体的に進めていく意向がある自治体との連携を強化し、協議を進めます。 ・広域事務組合の体制整備について、関係機関等と協議を行います。 ・伊賀市甲賀市亀山市広域連携推進会議の設置後、3市による事務局が一巡することから、これまでの取組みをさらに深化させ、具体的な施策の実施や市民への見える化を図ることについて、年度当初の会議で協議します。

